

水稻農家と雇用導入を考える

～千葉地域水稻研修会を開催しました～

千葉農業事務所改良普及課 令和6年2月19日発

近隣の水稲農家の減少により経営面積が拡大している農家では、労働力の確保が課題となり、雇用導入を検討していく必要があります。そこで農業事務所では、労務管理に関する知識の習得と水稻経営における雇用導入の実情を知ることが目的として研修会を開催したところ、雇用を検討している水稻農家17名の参加がありました。

研修会では、社会保険労務士に雇用契約書作成のポイントや雇用の導入時に必要な保険等、雇用管理の基本的な内容についての講義をしていただきました。また、他地域で雇用を導入している水稻農家から、導入の経緯やよりよく働くための環境づくりなど具体的な事例を話していただきました。参加者からは、「雇用はこれから考えなくてはいけない。いいアドバイスが貰えた。」との前向きな意見が聞かれました。農業事務所では今後も水稻農家の経営改善を支援していきます。



雇用を導入する農家の事例発表



熱心に聞く参加者